



## 年頭のご挨拶



ミドリ安全健康保険組合  
理事長 松村 不二夫

## 新年明けまして おめでとうございます

事業主ならびに被保険者のみなさまには、お健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年、厚生労働省が発表した2024年度の概算医療費は、過去最高の48・0兆円となりました。健保連が発表した2024年度の健康保険組合全体の決算見込では、昨今の賃金上昇の影響や保険料率の引き上げにより、保険料収入が対前年度+4・9%となったことから経常収支145億円の黒字となりました。しかし、高齢者等拠出金の伸びは対前年度+5・7%と保険料収入を上回っており、さらに2025年度は団塊の世代が全員75歳以上となることから、高齢者等拠出金への負担はさらに厳しくなるものと予測されています。また、2026年度からは新たに「子ども・子育て支援金制度」が始まります。当制度の支援金は健康保険組合が代行して徴収いたしますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

一方、健康保険組合を取り巻く情勢も大きく変化しています。2025年12月1日で健康保険証は廃止になり、医療機関にかかるときは基本的にマイナ保険証を使用するしくみになりました。マイナ保険証においては、昨秋からスマホに搭載できるようになり、災害時や救急時の利便性も向上しています。健康保険組合では今年度も引き続き、マイナ保険証への切り替えをお願いするとともに、利用登録されていない方や、マイナ保険証の使用が難しい要介護の方などには、ご不便がないよう保険証代わりに使える期限付きの資格確認書を交付して対応いたします。

みなさまにおかれましては今年も健康管理に留意し、健康保険組合が実施している健診等を積極的に活用して健やかな一年をお過ごしください。

